

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	24	—	1	基本事務事業名	土地改良事業	事務事業名	県単土地改良事業	公的関与	2	シート作成日	令和2年7月27日		
	部局名	産業経済部			課名	農地整備課	主務課長名	笠井 和芳	シート作成者名	中井 卓				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託			
		☒ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		令和 元 年 ~	令和 2 年	☐ 期間設定なし		
		主要施策		(4) 農業生産基盤の整備				☐ 2 非該当		根拠法令等	徳島県耕地関係事業補助金交付要綱			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民等の農地所有者及び関係団体										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	農業生産の推進及び維持管理の軽減を図ります。										
			今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 農業用排水路の整備													
	②													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標				
	工事達成率				%	目標		50	100	100				
						実績		54						
						目標								
						実績								
						目標								
実績														
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	2	農地費	目	1	農地総務費
			平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円	千円								
		県支出金	千円		2,700 千円	3,000 千円								
		地方債	千円		6,300 千円	9,100 千円								
		その他特定財源	千円		千円	千円								
		一般財源	千円		75 千円	900 千円								
		計(A)	0 千円		9,075 千円	13,000 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.200 人	1,208 千円	0.200 人	1,224 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		0 千円		10,283 千円	14,224 千円									

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	国等の助成を受けられない地域において、農業の近代化を促進するため必要な農業生産の基盤の整備及び開発を図り、もって農業生産性の向上及び農業構造の改善に資することを目的とした事業であるため地域の自然的経済的諸条件に適合していない箇所については早急に対応する必要があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	県の補助事業を有効に活用します。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	目標設定に対して、十分に整備できています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	現在のところ適当です。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	古い施設等、現況のままでは危険な場合があり、農業生産性の向上及び農業構造の改善を図るにあたり安心して農業を行えるよう事前に把握し早急に整備する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	必要に応じて本事業に適するか検討を行い、整備を図ります。					土地改良事業は、農地の持つ多面的機能を維持していくためにも必要な事業です。事業を継続します。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	24	—	2	基本事務事業名	多面的機能支払交付金事業	事務事業名	多面的機能支払交付金事業	公的関与	1	シート作成日	令和2年8月6日			
	部局名	産業経済部			課名	農地整備課	主務課長名	笠井和芳		シート作成者名	三橋英樹				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(3) 農用地の保全				☐ 2 非該当		根拠法令等		農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		農地・農業用水等の保全のための地域農業を中心とする活動組織											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	阿波市内の遊休農地、耕作放棄地の解消と農地・農業用水等の資源や農村環境の質的向上を図ります。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 資源の適切な維持保全														
	② 施設の長寿命化につながるきめ細かな保安全管理活動														
	③ 生態系保全、景観形成など農村の環境を良くする活動														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標					
	事業対象面積				ha		目標 2150	2150	2306						
							実績 2120	2107							
							目標								
							実績								
							目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	2	農地費	目	1	農地総務費	
			平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金	116,636		千円	118,679		千円	123,715		千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	38,096		千円	38,940		千円	41,238		千円				
		計(A)	154,732		千円	157,619		千円	164,953		千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	5,805	千円	1.000 人	6,038	千円	1.000 人	6,118	千円				
		臨時・嘱託職種	事務職員			多面的機能支払交付事業推進員			多面的機能支払交付事業推進員						
		臨時・嘱託工数・経費	1.000 人	2,814	千円	1.000 人	1,718	千円	1.000 人	1,980	千円				
	全体事業費(A+B)		163,351		千円	165,375		千円	173,050		千円				

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	農地・農業用水路などの資源は、過疎化・高齢化・混住化等に伴う集落機能の低下により、その保全管理を活動組織を中心に行うことが不可避になっています。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	組織を中心とした地域ぐるみでの共同活動を支援することで、農地・農業用水路などの資源の保全と質的向上が図れます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	活動組織の立ち上げにより、未実施地区への範囲拡大が見込まれます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	組織は、活動計画に基づき活動に取り組んでいるが、活動の実施確認を全て行うことは難しいです。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	3	A	3	4	3	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	毎年度のように制度の変更があり、活動組織への周知徹底とそれに伴う事務手続き等の混乱が生じないような対応が必要。また、本年度については、コロナウイルスの感染拡大防止等の点から、農地維持・共同活動の一部が制限されることとなります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	県の実施する事務従事者説明会だけでなく、制度の変更点などの周知徹底を図り、事務手続きの混乱防止のため担当者説明会を開催する。コロナウイルス感染拡大防止による活動の制限については、県とも連携しながら、きめ細かなサポートを行っていきます。					資源の機能維持や地域の活性化を図るため、継続して事業を推進します。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	24	—	3	基本事務事業名	森林病虫害等防除事業	事務事業名	森林病虫害等防除事業	公的関与	6	シート作成日	令和2年7月16日			
	部局名	産業経済部			課名	農地整備課	主務課長名	笠井 和芳	シート作成者名	中井 卓					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託				
		☒ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(7) 森林の保全・育成と活用				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	土柱周辺の自然環境の維持												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	土柱の景観を維持します。											
			今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 松くい虫の駆除委託(伐倒駆除・樹幹注入)														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標					
	特別駆除		グリーンガード使用本数		本	目標	300	300	300						
						実績	168	257							
	松くい虫による倒木数				本	目標	0	0	0						
						実績	4	31							
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産費	項	3	林業費	目	1	林業振興費	
			平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	1,096 千円		1,515 千円		1,015 千円								
		計(A)	1,096 千円		1,515 千円		1,015 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	581 千円	0.100 人	604 千円	0.100 人	612 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		1,677 千円		2,119 千円		1,627 千円								

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	阿波PAIに隣接している土柱の景観を保全することは、阿波市の観光資源の開発確保にもなります。また、土柱周辺の森林環境の多様性の保全にも欠かせないものであります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	土柱の景観を保全するには、松は欠かせない樹木の一つであり、現在行っている防除方法は大変有効な手段であります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	事業を取り入れたことで被害は見られなくなっています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	森林環境譲与税を活用することにより事業の継続が可能になり、又、土柱周辺の景観も維持できます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	土柱の松林の維持管理に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	毎年度、計画的に松くい虫の駆除を行います。					風致景観の維持のため、継続して事業を実施します。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	24	—	4	基本事務事業名	鳥獣被害対策事業	事務事業名	鳥獣被害対策事業	公的関与	2	シート作成日	令和2年7月27日			
	部局名	産業経済部			課名	農地整備課	主務課長名	笠井 和芳	シート作成者名	古山 佳彦					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(3) 農用地の保全				☐ 2 非該当		根拠法令等		鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(農業従事者)											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	有害鳥獣による農作物及び山林の被害を軽減します。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 鳥獣被害の調査及び聞き取り														
	② 有害駆除の申請手続き														
	③ 駆除の実施														
	④ 新規狩猟者の育成(狩猟免許取得費用の助成)														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標					
	駆除回数				回	目標									
						実績									
	狩猟免許取得者数				人	目標									
						実績									
	被害額				円	目標	2,880,000	2,880,000	2,700,000						
					実績	3,073,496	3,319,000								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	3	林業費	目	1	林業振興費	
			平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円	千円	平成29年度から数値目標の変更また、平成30年度以降の数値については、予算細目の鳥獣対策事業費の金額及び阿波市有害鳥獣捕獲対策協議会予算の数値を入力している。								
		県支出金	4,504 千円		4,147 千円	3,106 千円									
		地方債	千円		千円	千円									
		その他特定財源	千円		千円	千円									
		一般財源	5,765 千円		6,329 千円	6,745 千円									
	計(A)		10,269 千円		10,476 千円	9,851 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.500 人	8,708 千円	1.500 人	9,056 千円	1.500 人	9,176 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		18,977 千円		19,532 千円	19,027 千円										

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	農作物等の被害防止のため、重要な施策と考えています。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	イノシシやサル、カラスを管理捕獲することにより、頭数の削減や出没回数減少につながっています。捕獲だけでなく、それに併せて進入防止柵などの整備を進めていくことも必要であります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	有害鳥獣の捕獲でワナ等を仕掛けることにより、捕獲できなくても、イノシシやサルが近寄らなくなったとの声があります。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	鳥獣の種類、駆除方法により効果が異なります。そのため、鳥獣駆除の専門的な知識を持つ職員が必要であると考えます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	3	3	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	猟友会員数が減少していく中で、どのようにして、被害を防いでいくのが課題です。 また、過去に導入した檻や柵の所在不明のものが見受けられます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	引き続き、猟友免許取得費用の補助を行います。また、人がいなくても農作物等の防除が出来るように、管理捕獲と併せて進入防止策の整備を進め、捕獲と防除の双方の観点から農作物等の被害の減少に努めます。 過去に導入した檻や柵については、旧町時代のものもあり、どのような経緯で導入されたのかもわからず、全てを把握することは不可能です。					有害鳥獣による農産物の被害を防止するため、継続して防除や捕獲など総合的に対策を進めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	24	—	5	基本事務事業名	治山整備事業	事務事業名	県単治山事業	公的関与	9	シート作成日	令和2年7月27日		
	部局名	産業経済部			課名	農地整備課	主務課長名	笠井 和芳	シート作成者名	古山 佳彦				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託			
		☒ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☐ 1 該当		平成 27 年 ~ 令和 2 年		☐ 期間設定なし		
		主要施策		(7) 森林の保全・育成と活用				☒ 2 非該当		根拠法令等		徳島県林業関係事業補助金交付要綱		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		治山事業が必要な地域・箇所										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	市民また地域住民が安心して生活できるよう山林の環境・基盤の整備を行います。										
			今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 治山工事の現地調査と施工													
	② 測量設計事務													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標				
	工事箇所				箇所	目標	1	1	1					
						実績								
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	3	林業費	目	1	林業振興費
			平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	1,500 千円		2,500 千円		3,450 千円							
		地方債	千円		3,200 千円		3,400 千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	2,205 千円		1,086 千円		450 千円							
		計(A)	3,705 千円		6,786 千円		7,300 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,161 千円	0.200 人	1,208 千円	0.200 人	1,224 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		4,866 千円		7,994 千円		8,524 千円							

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	阿波市においては、山林面積が広く治山関係の改修工事必要箇所も多くあります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	県の補助事業を有効に利用します。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	治山の危険個所の整備ができます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	毎年の事業の実施により整備が進みます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	近年の異常気象による大雨等により、保安林の地すべり及び山腹等の崩壊が危惧されます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	毎年度、危険箇所を点検し、整備を図ります。					治山事業は、保安林を守り、森林の持つ多面的機能を維持するために必要です。事業を継続します。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 令和元年度実施事業対象

PLAN	No.	24	—	6	基本事務事業名	林道整備事業	事務事業名	県単林道事業	公的関与	2	シート作成日	令和2年7月16日			
	部局名	産業経済部			課名	農地整備課	主務課長名	笠井 和芳	シート作成者名	中井 卓					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託				
		☒ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 豊かで活力ある阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 農業の振興と森林の保全				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(7) 森林の保全・育成と活用				☐ 2 非該当		根拠法令等		徳島県林業関係事業補助金要綱			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民等の森林所有者及び関係団体											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	林業の生産性の向上を図り、林業農家経営安定のため林道の整備を行います。										
				今年度											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 林道の管理と整備														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標					
	改良工事				箇所	目標									
						実績									
	工事達成率				%	目標	100	100	100	100					
						実績	100	0							
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	6	農林水産業費	項	3	林業費	目	2	治山費	
			平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		令和元年度、令和2年度は事業の実施はありません。 令和3年度に事業の実施を予定しています。						
		県支出金	1,800 千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	2,898 千円		千円		千円								
		計(A)	4,698 千円		0 千円		0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		4,698 千円		0 千円		0 千円								

CHECK		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	森林の施業計画の達成のためのアクセス道路として必要な施策です。また、森林の整備はカーボンオフセット・水源確保・防災には欠かせない事業であると考えます。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	森林の持つ多面的機能を発揮させるためには施業が欠かせなく、そのためには林道は大変有効なアクセス手段となります。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	危険箇所の林道については、概ね整備できています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☐ 十分達成している		☐ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	現在のところ適当です。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
ACTION	評価点	一次評価 必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 総合評価 A					二次評価 必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 総合評価 A					
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	林道改良事業の危険箇所については、概ね整備は完了しました。今後は、適切に維持管理に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 林道は、森林管理に必要であることから、適切に維持管理を行っていきます。					
	改革案と実行計画	毎年度、林道の危険箇所の点検を行い、整備等を図ります。										
	委員会指摘事項											